令和２年度　アフターファイブ文学講座

小説の書き方・初級編

〈読む〉から〈書く〉へ

第１回	12月９日	この文章のどこが面白いのか？ ―― 魅力のポイントを探る
第２回	12月16日	書き出しのさまざま ―― 誘惑のステージ作りに向って
第３回	１月13日	情景描写、会話文の基本的な注意点 ―― リアリティはどこからくるか
第４回	１月20日	実作の具体的な検討 ―― 皆さんの作品から

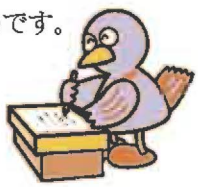
全４回　いずれも水曜日、午後６時30分から８時まで（受付６時～）



中村 邦生 氏

講師：中村 邦生 氏

作家、大東文化大学名誉教授。
大学では、比較文学、英米文学、文章制作を担当。文学担当の編集者として出版社勤務の経験もある。
「冗談関係のメモリアル」で、「文學界」（文芸春秋社）新人賞を受賞。
「ドッグ・ウォーカー」、「森への招待」がそれぞれ芥川賞候補になる。
主な著作として、
小説集　『月の川を渡る』、『風の消息、それぞれの』（以上、作品社）、
『チェーホフの夜』、『転落譚』（以上、水声社）ほか。
評論集　『〈虚言〉の領域』（ミネルヴァ書房）、
『書き出しは誘惑する』、『はじめての文学講義』（以上、岩波書店）など
アンソロジー『生の深みを覗く』、『この愛のゆくえ』（以上、岩波文庫）、
『芥川賞候補傑作選・平成編２』（春陽堂）。
講師より一言
書くに値する材料はどこにある？それは書こうとして、初めて記憶の奥から補給されるものです。



埼玉県マスコット
「コバトン」

会　場　さいたま文学館２階　講座室１（ＪＲ高崎線桶川駅西口徒歩５分）
定　員　２０名（全４回とも参加できる方）
対　象　埼玉県内に在住・在勤・在学の方
費　用　無料
申　込　往復はがきに講座名（アフターファイブ文学講座）・住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、さいたま文学館宛にお送りください。（高校生は保護者名を明記の上、必ず保護者の承諾を得る事）
または、当館ＨＰの応募フォームからでも応募可能。
締　切　令和２年１１月３０日（月）消印有効

※応募者が定員を超えた場合は抽選となりますので、あらかじめご了承ください。※受講の可否については返信ハガキまたはメールでお知らせいたします。

彩の国 埼玉県 さいたま文学館

さいたま文学館　検索

〒363-0022　桶川市若宮 1-5-9
TEL 048-789-1515　FAX 048-789-1517
http://www.saitama-bungakukan.org/

休館日　毎週月曜日（祝日・振替休日の場合は翌日）・毎月第４火曜日（祝日の場合は開館）



埼玉県マスコット
「コバトン」

